

佐藤町長とふれあいトーク 第6回(3月21日)当日意見交換要旨

No.	区分	質問・意見など	町長コメントと町の考え(後日回答分)	担当課
ふれあいトークテーマの大きな柱の一つである「府中南公民館の建て替え」について、意見交換前に次のとおり説明を行いました。 府中南公民館は、「第4次総合計画後期実施計画(令和3年度～令和7年度)」において、現位置で建て替えることを想定していましたが、浸水想定区域の指定や周辺道路(青崎池尻線)の想定交通量の変化といった新たな課題が生じたことから、現位置での建て替えが適切であるかどうかを含め、再検討を行うため、事業を延伸することとしました。 今年度は、利用形態、施設規模、建設候補地等に関し検討を行いました。現在の施設は約1,630㎡ですが、主要室の利用状況を踏まえた上で、各主要室を現状と同規模の面積を確保し、バリアフリーに配慮した施設とする新しい公民館は約1,720㎡程度は必要と判断しました。 建設候補地は、南部地区で検討した結果、4箇所(①区画整理事務所、②府中南公民館(現在地)、③鵜崎児童遊園、④旧朝泊溜池)を選定しました。選定した4箇所について、施設規模が1,720㎡の確保が可能であること、土砂災害レッドゾーンの区域でないこと、立地適正化計画における都市機能誘導区域であることを考察した結果、区画整理事務所と府中南公民館(現位置)の2つが候補地として絞られました。 さらに、区画整理事務所と府中南公民館について、専門業者に次の4つの条件を提示し調査・検討業務を委託し、考察を行いました。 ・想定する施設規模は1,720㎡とする。 ・浸水対策・駐車場確保対策として、1階部分をピロティ形式とする。 ・ホールはスポーツ利用を想定し、可能な限り天井高を確保する。 ・音楽ホールはミニコンサート等の開催を想定し、可能な限り天井高を確保するとともに、音響等に配慮する。 調査・検討した結果は次のとおりです。 【区画整理事務所の特徴】 ・4階建てにより、1,720㎡を確保できる。 ・主要室の縮小率は86%で、特にホールは80%の縮小率となり、目的に沿った利用が懸念される。 ・駐車場台数が17台と多くはない。 【府中南公民館(現位置)の特徴】 ・3階建てにより、1,720㎡を確保できる。 ・主要室の縮小率は96%で、調停時規模の許容範囲内。 ・駐車場台数は約40台と多く確保できる。 施設的な面から、区画整理事務所よりも府中南公民館の方が町の想定に近い施設を建設可能という結果になりましたが、府中南公民館は前面道路の車両混雑が見込まれるため、歩行者と車両の導線をどう確保するのか、池をどうするのか等を検討していかななくてははいけません。区画整理事務所と府中南公民館(現位置)でそれぞれ特徴がありますが、もう一度どちらで建設するのが良いのか検討する時間をいただきたいと思います。				
1	南公民館	南公民館の建て替えは、大きな事業である。 いつから、どのような検討を行ってきたのか。	【町長コメント】 府中南公民館の建て替えについては、長期計画(後期実施計画)に盛り込んで検討を進めてきましたが、浸水の危険等の新たに検討すべき課題が生じたことから、場所も含めて令和6年度も再検討させていただくこととなりました。 ※検討内容の詳細については、上記のとおりです。	社会教育課 (286-3272) 政策企画課 (286-3121)
2	南公民館	建て替えの場所として現・学校法人松本学園スポーツセンター(浜田三丁目11番1号)の土地を購入しておけば良かったと思う。 また、平成30年7月豪雨災害で被災した時も、町は土砂崩れの復旧に対応しなかったということを聞いている。	【建設部長説明】 該当箇所の対応について府中町は対応しています。平成30年7月豪雨災害時、質問のあった株式会社シンコーさんが所有する法面から町道へ流出した土砂を国の補助金を活用し、町で撤去しました。 また、崩壊した法面等の復旧に補助するために、町独自制度として「府中町被災斜面復旧事業費補助金」を創設し、全国から寄付を募りました。 株式会社シンコーさんが、自社所有の法面を復旧した際には、町は当該補助金を交付しています。なお、株式会社シンコーさんからもご寄附をいただいています。 【都市整備課回答】 府中町では、平成30年7月豪雨により崩壊したがけ及び擁壁の復旧に対して、「府中町被災斜面復旧事業補助金交付要綱」を策定し、個人が実施する復旧工事に補助金を交付しており、元の青少年文化センターからも申請があり、補助金を交付しています。	都市整備課 (286-3182)

佐藤町長とふれあいトーク 第6回(3月21日)当日意見交換要旨

No.	区分	質問・意見など	町長コメントと町の考え(後日回答分)	担当課
3	南公民館	災害に強く広い土地でいうと、候補地は南小学校(プール等)しか考えられないのではないかと。そこを複合施設にするのはどうか。 現在の南公民館では、収容人数に限られるので、100人ぐらいが利用できる会議室を設けてほしい。今後、50年、100年という将来を見据えた公民館を建築してほしい。 また、図書室が利用しづらいという声も聞いている。町立図書館(くすのきプラザ)は、特に低学年はひとりで学区外に行ってはいけない現状がある。そのため、南部の子ども達が本を読める場所も検討してほしい。	【町長コメント】 今回、提起いただいたこともありますので、令和6年度に関係部署と調整し、意見をすり合わせていきます。 【社会教育課長説明】 ホールなどをパーティションで区切るなどして、多くの人が利用できるよう工夫することも検討しています。 図書室についても、府中公民館のように吹き抜けた形や、皆さんが歓談する場所も必要と考えています。また、災害時にも対応できる施設にすることも検討しなくては いけません。これから基本設計に入っていきますので、皆様からいただいたアンケート結果や今回いただいたご意見も盛り込んでいきたいと思っています。	社会教育課 (286-3272) 政策企画課 (286-3127)
4	南公民館	基本設計はいつになるか。 また、 現位置の近隣地やピュアクックのあった土地を購入して、広くできないか。マイ・フローラ南交流センターをつぶして広くすればよいのではないかと。	【町長コメント】 令和6年度の予定でしたが、令和7年度の実施になります。 (令和6年度:再検討→令和7年度:基本設計→令和8年度:実施設計) 【建設部長説明】 令和2年度に洪水の危険が新たに追加されました。浸かった時に果たして機能するのかを考えていかなくては いけません。単独ではなく、地域の拠点、健康増進としての機能、プール、公民館、駐車場など等、もう一度、皆さんが利用したいと思える施設となるよう考える時間をいただきたいと思っています。これから、教育委員会としっかり連携して、ご提案していただいたことをしっかり検討していきたいと思っています。	社会教育課 (286-3272) 政策企画課 (286-3127)
5	南公民館	町営住宅も建設されてから、相当時間が経っている。こちらも、複合施設等を総合的に考えた検討をお願いしたい。例えば、府中北交流センターは、町営住宅も併設しており、避難場所としての機能もある。	【町長コメント】 今回、方向性は説明させていただきましたが、色々な意見があろうかと思っています。技術的な観点からこういうやり方でもできるということもあります。令和5年度の検討結果を土台とし、いただいたご意見等踏まえて、もう一年間、再検討する時間を頂ければと思います。	社会教育課 (286-3272) 政策企画課 (286-3127)
6	南小学校	南っこサポーター(南小学校コミュニティスクールのボランティア)が緑の広場を整備しているが、作業が追いつかない。水道は止めているが、今後は緑の広場を防災や子どもの体験の場として整備できればと思う。 また、防災や町内会の行事(とんど祭り等)の際に利用できる炊き出し用の鍋がほしい。	【教育総務課長説明】 緑の広場のある所は元々、田んぼがあり授業で使っていました。近隣の建物ができ、湧き水が出なくなったため、代わりに飯ごう炊飯をできるようにしたのが緑の広場と聞いています。学校として利用することがなくなったため、整備はしていませんが、ご活用して頂けるということであれば、今後どういう風に活用していくのか南小学校とお話して頂き、そのなかで教育委員会ですることがありましたら、また相談させていただきます。	教育総務課 (286-3270)
7	南小学校	体育倉庫は部分的に補修をされているが、補修する予算があれば、建て替えた方がよいのではないかと。かなり古い建物である。 建て替える際には、地域の活動で使用する備品を置けるようにしてほしい。 また、昔あったアスレチック遊具がなくなってしまった。復活してほしい。子たちは喜ぶのではないかと。	【教育総務課長説明】 かなり古い建物であることは認識しています。ただ、予算に限りがあるため、対応できていないのが現状です。昨年、南小学校の外壁をきれいにさせていただいたように、順次各学校の外壁と防水等実施しています。 また、南小学校では、児童がメインで使う教室の建具に劣化があるため、その部分を優先しています。そのため、倉庫や遊具まで対応できていないのが現状であり、緊急的・部分的な修繕をしていくこととなります。	教育総務課 (286-3270)

佐藤町長とふれあいトーク 第6回(3月21日)当日意見交換要旨

No.	区分	質問・意見など	町長コメントと町の考え(後日回答分)	担当課
8	南小学校	校内(プール横)に植えてあるソテツの木が倒れたら危ないという声が南っこサポーターから上がっている。大きな木なので心配である。	【教育総務課長説明】 根は弱っていないこと(担当者による現地確認)と学校から伐採の要望もないため現状のままとなっています。ご指摘のように大きな木であり、台風等の強風による危険性を考慮し、学校と相談して対応を検討したいと考えています。	教育総務課 (286-3270)
9	南小学校	南っこサポーターのようなコミュニティスクールの活動をもっと広報してほしい。入学式や卒業式、学校の環境整備等いろいろな活動をしている。教育委員会の方から広報ふちゅうの特集記事等として作成し活動を知っていただきたい。	【社会教育課長説明】 広報ふちゅうの特集記事を検討したいと考えています。南部は、コミュニティスクールや地域活動が活発なため、その活動を紹介していきたいと思います。 【政策企画課回答】 広報ふちゅうの年間掲載計画を調整しながら、教育委員会と記事の作成を検討するとともにHPの充実やSNSで活動の発信をさせていただきたいと思います。(3月に南っこサポーターの活動取材した写真をSNSに投稿し、子育て世代へ拡散します。) また、町では「府中町まち記者」という制度があります。自分が暮らすまちとしてイメージ・共感できるような身近なことなどを住む人の目線で発信するもので、町と一緒に府中町の魅力を発信していただければと思います。この制度は、自らのSNS(InstagramやFacebook)で発信していただき、町のSNSと連携して町の魅力を発信するものです(自らのSNSでの発信を町が再投稿する形で拡散します)。町の方から広報ふちゅうの記事のための取材をお願いすることもありますので、ご活用いただければと思います。	社会教育課 (286-3272) 政策企画課 (286-3127)
10	R6事業	ふれあい収集事業では、マンションの場合どうなっているのか。マンションのゴミステーションまで持っていくのが大変である。各戸の前まで、取りに来てくれるのか。	【町長コメント】 環境センターで受け付け等を実施しています。ご指摘のとおりマンションのお困りごともあるかと思います。本日はそれぞれの部門の職員が来ていませんので、詳細については確認して回答させていただきます。 【環境センター回答】 集合住宅にお住まいの方は、住宅の管理者の了承が得られれば、玄関ドア前の共用部分(通路等)まで収集にお伺いすることもできます。なお、オートロックのマンションの場合は、収集時に利用者の方に開錠していただく必要があります。また、利用者が在宅であれば、玄関ドア前で収集することも可能です(不在時には収集できません)。	環境センター (286-3266)

佐藤町長とふれあいトーク 第6回(3月21日)当日意見交換要旨

No.	区分	質問・意見など	町長コメントと町の考え(後日回答分)	担当課
11	R6事業	新卒保育士等就職支援金貸付事業(240万円)では、1人10万円を貸し付けるとあるが、何人程度の利用を想定しているのか。 また、対象は新卒保育士だけか。新しく雇用する保育士は対象ではないのか。	【町長コメント】 担当課からは20名程度と聞いています。翌年も引き続き従事していただければ返済を免除するといった制度です。なお、対象は新卒保育士です。 【子育て支援課回答】 新卒保育士等就職支援金貸付制度は、はじめて保育士のお仕事に就職する方に就職支援金をお貸しするもので、府中町の認可保育施設等で保育士等として1年間従事し、翌年も継続する場合、借りた支援金の全額が返済免除となる制度です。なお、令和6年度の申請者は20人でした。(申請期間:R6.1.15~2.28)	子育て支援課 (286-3168)
12	R6事業	低炭素型社会づくり推進事業の予算が150万円というのは少ないのではないかと。	【町長コメント】 府中町は令和5年3月13日に2050年までに温室効果ガスの排出量を実質ゼロにする「ゼロカーボンシティ宣言」を行いました。ただ、低炭素型社会づくりという概念は、町の最上位計画である第4次総合計画策定時にはなかったものであるため、令和7年度(第4次総合計画)までは、繋ぎとして事業をさせていただきたい。第5次総合計画ではゼロカーボンシティの実現に向けた事業を盛り込んでいきたいと考えています。 【環境課回答】 令和6年度のゼロカーボン関連事業については、次のとおりです。 ・低炭素型社会づくり推進事業 住宅用省エネ推進設備設置補助金 150万円(50,000円/件×30件) ・府中の森づくり事業 里山林整備委託料 800万円	環境課 (286-3244)
13	災害	避難所運営など被災地の実態を研究するため、能登半島へ勉強に行くとか考えていないか。	【町長コメント】 令和6年能登半島地震への支援については、職員を派遣しています。派遣応援に行く中で、職員が学ぶことは多くあると思います。 【危機管理課】 これまで大規模災害時には、次のとおり職員の派遣を行ってきました。 能登半島地震への支援については、今後も要請があれば、職員を派遣する予定です。 ○東日本大震災(平成23年3月11日) 事務職2名(賃貸住宅契約事務)の派遣、保健師2名(避難者の健康管理)の派遣 ○熊本地震(平成28年4月14日~16日) 土木技師3名(被災宅地危険度判定)の派遣 ○鳥取県中部地震(平成28年10月21日) 土木技師1名(被災宅地危険度判定)の派遣 ○能登半島地震(令和6年1月1日) 事務職5名・土木技師3名(住家被害認定調査)の派遣【令和6年4月5日現在】 ※能登半島地震への支援については、町ホームページへ掲載しています。	危機管理課 (286-3243)